

視点を変えれば

一つの方法からのみ物事をみていたのではどうしても解決できない問題でも、視点を変えたとたんに見えてくることもあります。

次は水戸黄門の一場面のようなのですが、急場をしのぐ方法を考えてみませんか。

ある商人が金貸しから金を借りて、返済できないで困っていました。商人には美しい一人娘がいて、金貸しはその娘に目をつけ、商人にこんな取引を持ちかけました。『わしの持っているこの皮袋の中に庭の黒い石と白い石を一つずつ入れる。そしてお前さんの娘に石を一つ引いてもらう。もしも白い石を引いたら、これまでの借金は帳消しにする。そのかわり黒い石を引いたら娘はわしがもらうことにする。』

ところが娘は金貸しが袋の中に庭の黒い石を二つ入れるのを見てしまいました。

方策1 「そんなのフェアじゃないわ」と抗議する。

方策2 「私、こんな賭けはイヤよ」と逃げる。

方策3 「お父さんの借金に私は関係ないわ」とその場を去る。

方策4 「しかたがないわ私が犠牲になりましょう」と泣いて黒を引く。



高校の英語の教科書にこれによく似た話が紹介されていました。外国にもこんな悪質な金融業者がいるのでしょうか。それはともかくとして、教科書では次のような方法で乗り切っています。

しかたなく、娘は袋の中から石を一個引きます。引くと同時に、その石を庭へ落とします。その時ストーンと言います。(これは冗談です)

娘の引いた石は庭の石にまぎれて分からなくなってしまいます。そして言います。『袋の中を見てください。残った石と反対の色の石が私が引いた石です。』

直面する現実の問題や課題はそんな単純なものではないことは承知しています。しかし、立ち位置を変えて物事を考えることはとても大切なことだと思います。そのために私は、緊急な決断を要するもの以外については

- ① 長時間同じ問題を考えない。一度頭を休めてから再度挑戦する。
- ② 職種や立場の全く異なる人の意見も聴く。
- ③ 学校や教育界の常識に時々疑問を持つ。(いつも持っていたら先に進めません)

特に保護者や地域のみなさんからのご意見やご要望は学校がややもすると陥りやすい独断や閉鎖的視点を軌道修正する良いきっかけと手がかりを与えてくれるものと思っています。遠慮無くご意見をお聞かせください。

もちろん、生徒自らの意見も大歓迎です。